

令和3年度の重点課題

○全体（令和元年度の県、全国との比較）  
・「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」において県平均かつ全国平均値より低い学年が多い。

○男子（令和元年度の県、全国との比較）  
・5つの学年において「反復横とび」及び「20mシャトルラン」の結果が県平均値かつ全国平均値より低い。

○1日の運動時間が30分未満の児童の割合が20.5%である。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○体育朝会を月に2回実施し、設定した時間を走り続けたり、跳び続けたりする運動を行い、持久力の向上を図った。

○体育科の授業の準備運動の際に、2分間走を行い、持久力の向上を図った。

○体育科の授業の始めに運動能力を総合的に高める動きを取り入れた準備体操を継続的に実施した。（板城マッスル体操）

○児童会の体育委員会が主体となって、週に2回「外遊び教室」を実施し、鬼ごっこやけいどうなどの走る遊びを多く取り入れた。

○教職員に対して、体育科の授業での主運動に繋がる予備運動についてや、家庭でできる体力づくりについての研修を3回行った。

令和4年度新体力テストの結果（県平均値（令和3年度）・全国平均値（令和3年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	18.93	22.08	32.08	43.64	51.84	9.27	161.68	26.14	57.89	第5学年	16.27	20.29	34.59	39.89	43.52	9.48	166.71	15.64	58.22

県平均値かつ全国平均値未満

令和4年度新体力テストの結果（県平均値（令和4年度）・全国平均値（令和4年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	18.93	22.08	32.08	43.64	51.84	9.27	161.68	26.14	57.89	第5学年	16.27	20.29	34.59	39.89	43.52	9.48	166.71	15.64	58.22

県平均値かつ全国平均値未満

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	81.1	13.5	2.7	2.7	第5学年	56.67	36.67	6.67	0.00

学校独自の意識調査

	男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第1学年	75.6	17.0	4.8	2.4	第1学年	79.3	17.2	3.4	0.0	
第2学年	77.7	22.2	0.0	0.0	第2学年	77.7	22.2	0.0	0.0	
第3学年	72.7	24.2	0.0	3.0	第3学年	75.8	10.3	10.3	3.4	
第4学年	64.1	33.3	2.5	0.0	第4学年	64.7	17.6	8.8	8.8	
第5学年	72.9	21.6	2.7	2.7	第5学年	63.3	26.6	3.3	6.6	
第6学年	40.6	43.7	3.1	12.5	第6学年	44.4	25.0	27.7	2.7	

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・カリキュラムマネジメントを行い、他教科や学校行事との関連を意識して、効果的に運動能力を高められるように単元構成の見直しを図る。
- ・年間を通して、運動能力を高める準備体操を実施する。（板城マッスル体操）
- ・体育の授業の導入に高めたい力を明確にした基礎運動を取り入れる。（なわとび、2分間走、サーキット）

体育の授業以外で行う取組内容

- ・月に2回体育朝会を行い、設定した時間を楽しく走り続けたり、跳び続けたりする運動を行う。
- ・自宅で取り組めるトレーニングやストレッチを毎日の課題や長期休暇の課題等に取り入れ、運動の日常化を図る。
- ・運動やスポーツをすることが好きな児童を増やすために、児童会が主体となって楽しく、仲間と協力してスポーツをしたり、外で遊んだりする機会を設定する。
- ・児童が楽しみながら運動に取り組むことができるように、運動の環境を整え、積極的な活用を促す。（ケンケンパリング、逆上がり補助板）

重点課題

- 男子
  - ・「長座体前屈」において、県平均値かつ全国平均値より低い。
  - ・「50m走」において、県平均値より低い。
  - ・全学年において運動やスポーツをすることがやや嫌い、嫌いと答える児童の割合が5.6%である。
- 女子
  - ・「握力」、「長座体前屈」、「反復横とび」、「50m走」において、県平均かつ全国平均値より低い。
  - ・全学年において運動やスポーツをすることがやや嫌い、嫌いと答える児童の割合が12.5%である。
  - ・やや嫌い、嫌いと答える女子の割合が男子よりも6.9%多い。
- 全体
  - ・「長座体前屈」において、県平均値かつ全国平均値より低い。

令和4年度の重点目標値

- 「長座体前屈」を県平均値かつ全国平均値以上にする。
- 「50m走」の記録を県平均値以上にする。
- 全学年において、運動やスポーツをすることがやや嫌い、嫌いと答える児童の割合を、男子は5%以下、女子は10%以下にする。